岐阜でつなぐ、
道具の作り手と使い手の輪

岐阜は木の国、山の国。
杣人たちは斧で木を伐り、手斧ではつり、大鋸で挽き、柱や板を作ります。大工たちはそれを鑿で掘り、鉋で削り、建物や家具を仕上げます。
人が木という素材を使う時、なくてはならない鉄の道具。それは鍛冶屋が作る道具です。
今でこそ林業も建築業も機械化が進み、手道具に頼る場面は減りました。
しかし刃物が木の繊維を切る最も基本の原理を学ぶ時、そして機械ではなし得ない究極の仕上げを木に施す時、職人たちは今も鍛冶屋が作った鉄の道具を手にします。
新潟・与板、兵庫・三木、高知・土佐山田など、産地の熟練たちが作る道具です。
この文化を受け継ぐために、道具の作り手と使い手が集い、語り合い、楽しむ３日間の祭典を企画しました。
ぜひご参加ください。

林業家 江崎尚史氏の手道具、斧

鍛冶フェス
ものづくりを支える 鉄の道具
the Blacksmithing Festival vol.1

パネルディスカッション
2019年度に実施した林業や木工の職人が使う道具の調査報告とクロストーク

刃物の作り手と使い手が語る

2020年1月11日[土]13:30-16:30
参加無料・要申込
定員100人

ナンキンフェス
曲線や曲面を削る南京鉋について作り手と使い手から話を聞き、体験します

南京鉋の祭典 -手道具に親しむ-

2020年1月12日[日]・13日[月・祝]
有料・要申込
定員計50人

10:00-17:00　9:00-15:00

会場：岐阜県立森林文化アカデミー　森の情報センター
主催：岐阜県・岐阜県立森林文化アカデミー
協力：グリーンウッドワーク研究所

the Blacksmithing Festival

鍛冶フェス the Blacksmithing Festival

岐阜県では 2019 年度から、林業・木工・木造建築などの仕事に用いる、鍛冶屋が作る道具の供給状況を調査しています。県内には森林や木材に関わる優れた伝統技術がありますが、道具の供給が途絶えてしまうと技術の継承ができなくなるためです。4 月以降、森林文化アカデミーの教員と学生が調査を担当し、道具を使う県内の林業家、大工、木工職人、道具を作る県内外の鍛冶職人に聞き取り調査を続けてきました。この調査の途中経過を報告し課題を共有する場と、多くの方に道具に親しんでもらう場を設けたいと考え、2 つのイベントを企画しました。

1 パネルディスカッション ｜ 刃物の作り手と使い手が語る

参加無料 定員 100 人 要申込

2020年 1月 11日 [土] 13:30-16:30 開場 13:00

2019 年度に実施した林業や木工の職人が使う道具の調査報告と、林業家や大工、鍛冶職人が語ります。
報告者：久津輪 雅（岐阜県立森林文化アカデミー 准教授）

パネラー

江崎 尚史
林業家、岐阜県山県市

川上 舟晴
大工、岐阜県高山市

千代鶴貞秀
鉋鍛冶、兵庫県三木市

西山 賢
山林用刃物商、高知県香美市

進藤 恭平
鍛冶屋創生塾助手、高知県香美市

2 ナンキンフェス ｜ 南京鉋の祭典 - 手道具に親しむ -

有料 定員計50人 要申込

2020年 1月 12日 [日] 10:00-17:00 ・13日 [月・祝] 9:00-15:00

参加費：A 5,000円（1/12 の聴講＋削り体験のみ）：定員 30人
B 45,000円（1/12 の聴講＋削り体験＋南京鉋づくり講座）：定員 20人※大久保コース、西コース各 10 人。

曲線や曲面を削る南京鉋について作り手と使い手から話を聞き、体験します。B をお申込の方は南京鉋の台を打ち、1 本製作できます。

スケジュール

【1/12】
9:30 開場
10:00 開演、トーク
12:00 昼食
13:00 鉋刃製作デモンストレーション
13:30 南京鉋削り体験
15:45〜17:00（B 申込者のみ）南京鉋づくり講座

【1/13】（B 申込者のみ）
9:00 制作開始
12:00 昼食
13:00 再開
15:00 終了予定

講演・実演

大久保 公太郎
木工家、長野県松本市

吉野 崇裕
木工家、山梨県河口湖町

杉田 悠羽
道具製作者、岐阜県富加町

西 禎恒
道具製作者、兵庫県多可町

会　場：岐阜県立森林文化アカデミー 森の情報センター 501-3714 岐阜県美濃市曽代 88、0575-35-2525（代）
主　催：岐阜県・岐阜県立森林文化アカデミー　　協　力：グリーンウッドワーク研究所
問合せ：久津輪 雅　mkutsuwa@forest.ac.jp
詳細・申込は ▶▶ https://www.forest.ac.jp/events/2020kajifest/